



ACCESS

- 北千住駅から2駅、東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線)「堀切」駅より徒歩2分
- 京成本線「京成関屋」駅より徒歩10分

〒120-0023 東京都足立区千住曙町34-12

☎ 0800-888-5071 (フリーコール)

✉ tsushin-info@tokyomirai.jp

📱 <https://corres.tokyomirai.ac.jp/>



2026年10月発行

学校法人 三幸学園

東京未来大学

通信教育課程

2027

こども心理学部

- 認定心理士
- 幼稚園教諭免許状(一種・二種)
- 小学校教諭免許状(一種・二種)
- 社会福祉主事任用資格
- 児童福祉司任用資格
- 児童指導員任用資格
- 学士(こども心理学)

モチベーション 行動科学部

- 認定心理士
- 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格
- 社会福祉主事任用資格
- 学士(行動科学)



こんなところに心理学

心理学は日常の何気ない場面に幅広く関わる学問です。
様々な領域にわたる学びを深め、視野を広げて、人生に役立ててみませんか。

こども心理学部

「発達障害」と心理学

発達障害について援助のポイントは？

発達障害という言葉はよく耳にしますが、保護者や教育者として接する時はどうしたらいいのでしょうか？
一人ひとり個性が異なる子どもに対して適切な支援をするためには、正しい知識と知識に基づいて理解する姿勢が必要不可欠です。

モチベーション行動科学部

「コミュニケーション」と心理学

人と話すのに自信がない時は？

人は誰かとコミュニケーションを取る時、なぜその言葉、ジェスチャー、距離、視線を選ぶのでしょうか。コミュニケーションの心理学を学ぶことで、対人関係における様々な要素を考え、理解し実生活でも活かすことができます。

こども心理学部

「教育」と心理学

子どもがつまずく時も寄り添いたい！

学校のような集団の場では、友人や先生との関係に悩むことや、学習の壁にぶつかってしまうことも。
「教育心理学」では心理学の観点から、子どもたちが楽しく過ごせるように悩みに寄り添う対応を考えていきます。

モチベーション行動科学部

「自分のモチベーション」と心理学

計画を立てたけれど、やる気が起きない…

モチベーションは目標に向けて行動を起こすためのエネルギー。どんな時にモチベーションが上がるのか、やる気が出ない人にはどう働きかけてあげればいいのか。モチベーションについて学び、自分や周囲への理解を深め、元気づけるための方法を身につけましょう！

こども心理学部

「犯罪」と心理学

犯罪を未然に防ぐには？

突然ですが、子どもを狙う犯罪者が活動する時間と場所をご存知ですか？データによると実は「15時台の通学路」が最も狙われやすいそうです。正しい防犯対策を取るためには、犯罪の心理的なメカニズムを理解し、犯罪を未然に防ぐという視点が必要です。

INDEX

- P. 1 巻頭特集1
こんなところに心理学
- P. 3 巻頭特集2
東京未来大学 通信教育課程の強み
- P. 5 巻頭特集3
卒業生インタビュー
- P. 7 5つの学び方
- P. 12 半年間の学習イメージ

- P.13 こども心理学部
- P.17 モチベーション行動科学部
- P.21 データベース
- P.22 取得可能な資格・教員免許状・学位
- P.23 学長メッセージ・教職員紹介
- P.29 教育理念
- P.30 学校法人 三幸学園について

東京未来大学 通信教育課程の強み

分かりやすさと続けやすさを両立する！
科目ごとに最適化された**5**つのスタイル

01 

テキスト科目 [≫ P.7](#)

02 

スクーリング科目
(対面授業)

[≫ P.9](#)

03 

テキスト
スクーリング科目

[≫ P.10](#)

04 

スクーリング科目
(メディア授業)

[≫ P.11](#)

05 

スクーリング科目
(ライブ授業)

[≫ P.11](#)

テキスト科目を中心に、スクーリング科目も組み合わせることで、資格や教員免許状を取得できます。

半年間の学習イメージ [≫ P.12](#)

\\ だから //

単位修得率

86.4%

(2012～2025年度累計)

単位修得率とは履修登録した学生のうち、どれくらいの学生が単位修得できたのかを示す数値です。科目ごとに最適化された5つのスタイルによって学習効果を高めることで、本学では開学以来80%以上の高い単位修得率を維持しています。

キャンパスアドバイザーが
学生生活をサポートします



キャンパスアドバイザー(CA)制度は、東京未来大学オリジナルの学生サポート制度です。入学後から卒業まで、目標達成のために「履修科目の選び方」「各種手続き」など様々な質問や相談に対応します。

通信制大学ならではの孤独なイメージや不安も、キャンパスアドバイザー(CA)がいるから安心。一人ひとりの事情や学びへの思いなどを受け止め、寄り添ったアドバイスや提案をしています。困ったことや不安なことがあったら、キャンパスアドバイザー(CA)に相談し、目標達成できる道を一緒に考えていきましょう。

卒業生インタビュー



こども心理学部 卒業

亀井 龍 さん

英語教室勤務

徳島県在住。20代。東京未来大学卒業後、フィリピンに語学留学し、現在は2歳から18歳を対象とした英語教室に勤務。

学ぶって楽しい。
入学前には予想していなかった
道が開けました

高校卒業後、工場で二交代制の勤務をしていましたが、職場環境によるストレスが大きく、大学に進学した同級生をうらやましく思うことがありました。そんな時、小学校の先生に憧れていたことを思い出し、大学に入学して教員免許を取得したいと考えたのです。Webで試験が受けられ、休日にスクーリング科目(対面授業)が設定してある東京未来大学なら、仕事と両立できると考え入学を決めました。

高校までの受け身の勉強と違い、自分が興味のあることを体系的に学ぶことは楽しいと知りました。中でも「初等図画工作科教育法」での2日間の対面授業では、子どもの目線で受講することで、楽しむことが学びを深めると実感しました。高校までは漫然と受けていた授業も、それぞれに目的があることや、授業準備の大切さを学びました。また幅広い年齢の同級生と接し、視野が広がりました。海外でのボランティア経験のある同級生の話を聞き、それまで考えたこともなかった海外での活動や将来像を意識するようになりました。

学ぶ楽しさを知ると、興味の範囲も広がりました。経済や高齢者問題に関心がわき、在学中に福祉用具レンタルの会社を始めることに。そこで県有数の経営者の方から、様々な経験を積むことの大切さを教えられたことをきっかけに半年間のフィリピン留学を実行しました。そこで

出会った学生たちは皆世界に目を向けていました。日本と比べた時の生活レベルの差、フィリピン国内でも起きている貧富の差を目の当たりにし、さらに経験や知識をつける必要があると考えカナダでビジネスを学ぶことを決めました。

現在はその準備期間として、日本で子どもたちに英語を教えています。東京未来大学で「子どもの心理学(総論)」や「教育心理学」などを学び、教員免許を取得したことが子どもたちとのコミュニケーションや指導に活きていると感じています。子どもたちの小さなリアクションや表情から心理状態の変化に気づき、話してみると今の気持ちや状況を教えてくれ、それが子どもとの信頼関係や、意欲の向上につながっていると感じています。

フィリピンで出会った子どもたちの中には、豊かとは言い難い暮らしをしている子も一定数いました。しかし、大人を含めそれぞれが活力を持って楽しそうに生活をし、仕事をしている姿が印象的でした。私自身、仕事をしながら勉強を続け小学校の教員免許を取得、さらに留学までできたのは、学ぶ楽しさがあったから。カナダでも学び続けて、いずれは開発途上国で起業し、その国と共に成長したいと思っています。東京未来大学で学んだことで、自分でも想像していなかった未来が広がっていることにワクワクしています。



相手の良いところに目が向くように。
日々の学びが
コミュニケーションに生きています

日本語学校の講師として勤務をしています。教えている留学生は進学希望者が多く、進路指導をする機会もあります。大学を卒業していない私が担任として進路指導をしていいのかわからないことがあり、大学を卒業してキャリアアップをしたいと考えるようになりました。普段からも留学生とのコミュニケーションの難しさや声掛けの大切さが重要であると考えていた中、モチベーション行動科学部のことを知りました。

大学進学を考えた時、仕事や家庭との両立、長く勉強から離れていたことへの不安がありましたが、東京未来大学では効率よく学べる学習方法や、Webで試験が受けられることが魅力的で入学を決意しました。入学説明会に参加した際に、キャンパスアドバイザーが私の抱えていた不安に親身になって相談に乗ってくれたことも入学のきっかけになりました。

通信での学習は孤独だと思っていましたが、先生が質問に丁寧に回答してくれ、「一緒に頑張りましょう」というメッセージをくださるなど、良い雰囲気の中で学ぶことができました。オンラインのライブ授業内でも意欲的な仲間と出会い、その方と実際に対面授業で会えた時は嬉しかったです。先生や仲間のおかげで4年間学び続け、卒業することができました。

学習面では、スキマ時間にいつでも学習できるように教科書や学習の手引きを持ち歩きました。教科書を読んで気になった言葉や重要だと思う点は、学習の手引きの余白にメモをして大いに活用しました。「コーチング」や「コミュニケーション・スキル」の授業では、仕事を通じて感じていたことや必要だと思っていたことを言語化でき、納得感を持って仕事に活かすことができています。

「コーチング」では相手の良いところを見る＝認めること、また「コミュニケーション・スキル」では相手の立場を尊重しつつ、自分の思いを伝えるアサーションスキルであるDESC法(※)を学び、目から鱗が落ちる思いでした。留学生は、育った文化や常識が私たちと違うことが多々あります。問題と思われる行動でも、その理由を聞くと留学生ならではの事情や考え方があるのが分かりました。相手を認め、尊重したうえで指導することで、学生も反発せずに向き合ってくれるようになりました。学んだことを実践するのは簡単ではありませんが「日々の生活の中で積み重ねていくしかない」という先生の言葉を意識して行動しています。

現在は国家資格となった日本語教師の資格取得を目標に勉強を続けています。

モチベーション行動科学部 卒業

小澤 友恵 さん

日本語学校勤務

千葉県在住。40代。専門学校の日本語教育科を中退後、専業主婦を経て日本語学校の講師となる。中学生から大学生まで3人の子どもの母でもある。

※DESC法:Describe(描写する)、Explain(説明する)、Suggest(提案する)、Choose(選択する)の4つのステップで会話を進め、より良い結論に導くコミュニケーションスキル

テキスト科目

1ヶ月に2科目ずつ履修！
学習から単位修得まで全て自宅で完結！

「2セメスター・8ターム制」と呼ばれる、1年間を半年ごとの学期(セメスター)に分け、さらにセメスターごとに4つの学習期間(ターム)を設置する学習システムを採用。各ターム(約1ヶ月)に2科目履修可能、1年間で最大16科目学ぶことができます。

それぞれのタームでテキスト学習→中間試験→テキスト学習→単位修得試験を行い、1ヶ月で単位修得していくので、短期間に集中して単位修得を目指せます。学習から単位修得まで、全て自宅での受講が可能です。

Point



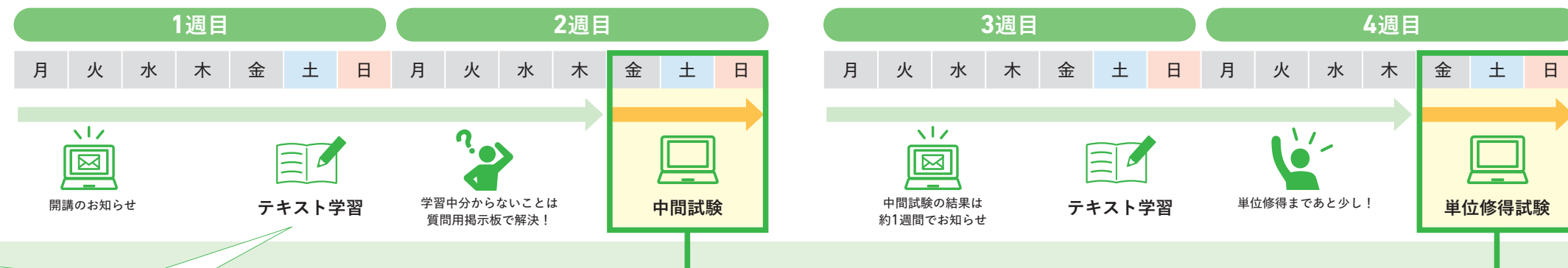
- 01. 「教科書」と「学習の手引き」を活用しながら自分のペースで学ぶ
- 02. 通学不要。試験はWeb上から受験
- 03. 試験は2週間おき。短期集中で着実に単位修得



1セメスター(春学期)					
4月	5月	6月	7月	8月	9月
Web上で履修登録	1ターム 科目1 科目2	2ターム 科目3 科目4	3ターム 科目5 科目6	4ターム 科目7 科目8	
	済	済	済	済	

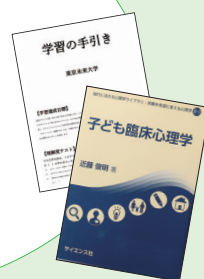
2セメスター(秋学期)					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
Web上で履修登録	5ターム 科目9 科目10	6ターム 科目11 科目12	7ターム 科目13 科目14	8ターム 科目15 科目16	
	済	済	済	済	

各タームの流れ



テキスト学習

「教科書」+「学習の手引き」を自分のペースで学習します。
「学習の手引き」とは、何を学び何を身につけるのかを把握するための「学習目標」や、知識が身についたかを客観的に確認するための「理解度テスト」が掲載されている補助教材です。

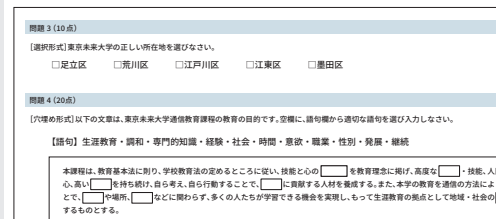


中間試験・単位修得試験

試験期間中(3日~4日)24時間、受験できます。

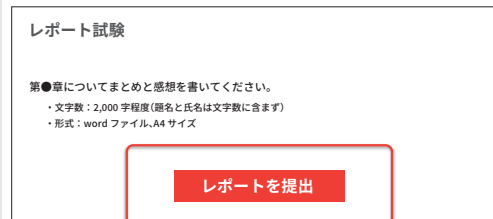
テスト形式

- ・正誤選択問題
- ・複数選択問題
- ・空欄穴埋め問題
- ・短文記述問題
- など



レポート形式

Microsoft Wordなどでレポート作成後、システム上にアップロード



単位修得



単位修得試験の約1週間後には合格結果を通知。
定期的なサイクルで成績が分かるので、モチベーションを高く保ち学習を進めることができます。



スクーリング科目(対面授業)

東京未来大学に通学し、実践的な授業を学ぶ

実技や実験が必要となる科目や、自宅学習では理解が難しい科目は、教員が直接授業を行うスクーリング科目(対面授業)として実施しています。授業内で行われる活動を通して学びを深め、疑問点を直接教員に質問することが可能です。

仕事や家事・育児などで忙しい方でも出席しやすいよう、スクーリングの開講日程は科目によって**3日間スクーリング(土日祝/8月)** **4日間スクーリング(土日・土日)** **5日間スクーリング(土日祝・土日/8月)**等のパターンがあります。年に複数回開講されている科目もありますので、自分の予定に合わせて計画しましょう。

Point

01. 教員の授業が直接受けられる
02. 授業は土日祝日、夏期期間(8月)に実施
03. 授業内の活動を通して学びを深められる



スクーリング例

スクーリング科目の開講予定表をチェック! >>



A科目の開講予定表(例)

2週間にわたる土日の

4日間スクーリングで1科目

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

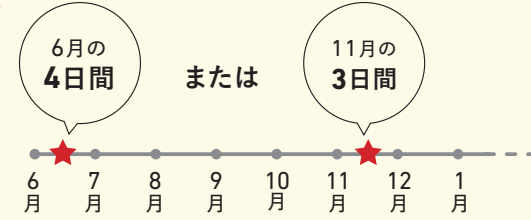
or

土日祝や夏期の

3日間スクーリングで1科目

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

都合に合わせて6月or11月の2日程から選択可能!



B科目の開講予定表(例)

8月の連続した

5日間スクーリングで1科目

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

or

土日祝と翌週の土日の

5日間スクーリングで1科目

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8月は予定が合わないので1月にB科目を履修しよう!



テキストスクーリング科目

自宅でのテキスト学習と、2日間の対面授業

教員免許状取得に関わる一部の科目は、テキスト科目とスクーリング科目(対面授業)の特長を併せ持った科目として実施しています。自宅でのテキスト学習で理論を学び、2日間のスクーリング(対面授業)で実践を学びます。教員になるために必要な「実践指導力」や、学校現場が抱える課題への「対応力」を身につけることができます。

Point

01. 土日などに2日間通学
02. 事前に自分のペースでテキスト学習
03. 模擬授業などの実践的な内容が学べる

テキストスクーリング科目の流れ



テキスト学習



進めやすく、しっかり理解できる教科書

教科書を読んで学習し、スクーリング前の準備をします。スクーリング時まで課題をこなしたり、教壇に立つための「理論」を身につけます。

2日間の通学



2日間のスクーリング(対面授業)で模擬授業やグループワークを実施

学生同士の模擬授業やグループワーク、指導案の作成などを行い、「実践力」を身につけます。

スクーリング科目(メディア授業)

約1ヶ月間、授業の動画を視聴して学ぶ

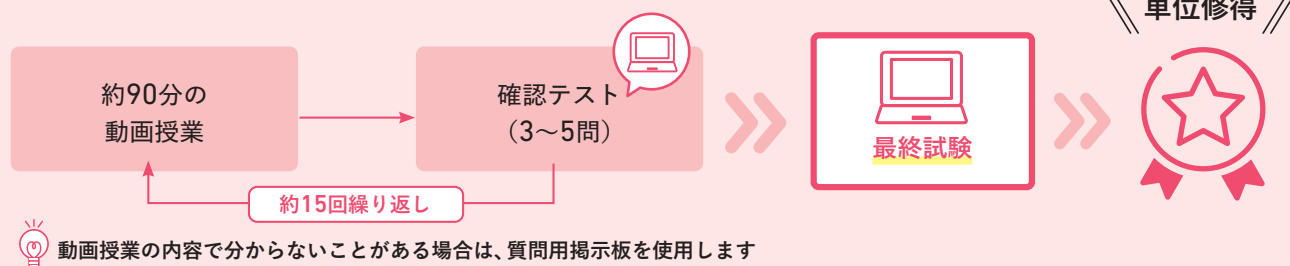
パソコンやスマートフォンから授業の動画を見て学習します。1ヶ月の学習期間内に、動画の視聴、確認テスト、最終試験の受験をします。24時間いつでもどこでも受講できるので、ライフスタイルに合わせて学習することができます。

Point

1. 学習期間は約1ヶ月
2. いつでもどこでも受講可能
3. 反復学習で理解を深められる



スクーリング科目(メディア授業)の流れ



スクーリング科目(ライブ授業)

オンラインで学ぶリアルタイム授業

オンライン会議システム(ZoomやGoogle Meet)を使った、リアルタイムの遠隔授業です。自宅から授業に参加することができるので、交通費や宿泊費の負担もなく、より授業に参加しやすいシステムです。

Point

1. リアルタイムでコミュニケーション
2. 自宅から授業に参加
3. 疑問点はその場で質問できる



半年間の学習イメージ

小学校教諭免許状の取得を目指す！

こども心理学部で、小学校教諭免許要件科目の履修と、卒業(学士)を目指します。
半年間でテキスト科目8科目と、テキストスクーリング科目2科目を履修。

春学期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		1ターム	2ターム	3ターム	4ターム	
	テキスト科目	子ども美術	教育の方法と技術 (情報通信技術の活用を含む)	社会	道徳教育	
	テキストスクーリング科目	理科	教育学概論	生徒・進路指導	子ども教育課程論	
		初等国語科教育法		初等算数科教育法		

※こちらはあくまでも履修例です

(check!)

教員採用試験対策講座

教員を目指す方を対象に、外部の教員採用試験対策講座を提供しています。講座は対面式のものと、Web講座があります。また、教員採用試験に出席している学生を対象に、二次試験の対策講座も実施しています。集団面接・集団討論等、自治体によって異なる試験内容に広く対応できるよう、講座を開講しています。
※正科生対象の講座です



認定心理士と「公認モチベーション・マネジャー」Basic 資格取得を目指す！

モチベーション行動科学部で、認定心理士要件科目の履修と、卒業(学士)を目指します。
半年間でテキスト科目8科目と、スクーリング科目(対面授業)・スクーリング科目(メディア授業)をそれぞれ1科目ずつ履修。

秋学期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5ターム	6ターム	7ターム	8ターム	
	テキスト科目	心理学概論	モチベーション論I	コミュニケーションの心理学	地域と社会	
	スクーリング科目(対面授業)	教育学概論(モチベーション)	産業・組織心理学	経営学	異文化コミュニケーション	
			心理療法			
					コーチング	

※こちらはあくまでも履修例です

(check!)

「公認モチベーション・マネジャー」Basic 資格とは

一般社団法人モチベーション・マネジメント協会が認定する、ビジネス系資格です。取得のための学びを通じて「モチベーションをマネジメントする力」を修得できます。自分自身に対するモチベーション・マネジメントを中心に、主に実践スキルを身につけます。上司や同僚とのコミュニケーションの活性化にも役立ちます。



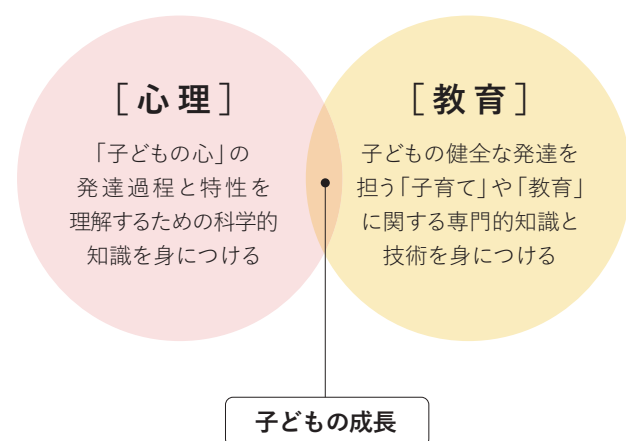
こども心理学部

こども心理学科

子どもの心を理解し、発達や成長を手助けする

こども心理学部では、子どもの心理に精通した専門家として、心理・教育系分野で活かせる力を養います。科学としての「心理」と実践としての「教育」を学ぶことで、子どもの心を理解し、その発達や成長を手助けできるスキルを身につけます。

学びのポイント



身につく力

- 子どもたちを幸せにする力
- 教育現場での指導力・実践力
- 家庭で役立つ子育て力
- 発達障害のある子どもを理解する力
- 子どもたちを危機から守る力
- 資格を活かした専門力

学部長メッセージ

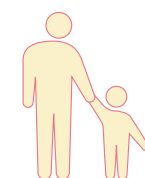


こども心理学部長
出口 保行 教授

青年期以降をも視野に入れた幅広い学びで 子どもの心を理解する

「こども心理学」と聞くと、その名前から子どもに特化した心理学を学ぶように感じるかもしれませんが、当学部は、青年期以降も視野に入れた幅広い年代の心理学を学習対象としています。目の前にいる子どもの心理を理解するためには、成長に伴ってその後どのように変化するのかを理解することが重要だからです。また、一口に心理学といってもその内容には非常に多岐にわたる分野がありますので、横断的に幅広く学ぶことによって、いわゆる心理学ワールド全体を理解することが可能です。加えて、教科書や教室での学習や研究を実際に学外で実践し、その経験を持ち帰って再び学問につなげる「科学者＝実践家モデル」による学びも特徴の一つです。通信教育課程の学生の多くは、何らかの形で社会での活動経験があり、十分実践家といえるので、学習した知識を一層高める効果はとても高いでしょう。社会生活と照らし合わせながら、しなやかに広い視野を持って学んでください。

学べる心理学の領域



子育てに役立つ心理学

子どもと関わるうえで、発達に不安を覚えたり、悩みを抱えることが多々あるでしょう。子どもの成長や行動を理解したり、親子の関係性を考えることで、子どもとの接し方に活かすことができます。

PICK UP 親子関係の心理学

親子関係の危機を回避！

イヤイヤ期や反抗期など、子どもの発達過程で親子関係の危機は何度も訪れます。カウンセラーがどのようにサポートするのか、事例の検討を通して学んでいきます。

こんな方に
オススメ！

- 子育て中の方や子どもに関わる仕事に就いている方
- 学んだことを子どもや家族の理解に役立てたい方



教育に役立つ心理学

教育現場では、いじめや不登校、非行など、様々な問題に対応しなければなりません。どのように子どもに寄り添えば良いか、実践的かつ有効的な支援方法を検討します。

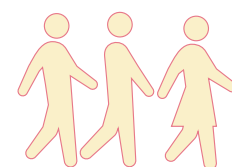
PICK UP 教育心理学

子どもが学校を楽しめるように

子どもが長い時間を過ごす集団教育の場で生じる様々な問題を、心理学の観点から考察し対処法を考え、子どもの幸せな未来に貢献できるよう学んでいきます。

こんな方に
オススメ！

- 教育現場などで子どもに関わる仕事に就きたい方
- 児童や生徒だけでなく、保護者支援に興味のある方



集団生活に役立つ心理学

人は社会的動物と言われており、常に他者との関係性の中で生きています。周囲と良好な関係を築くために、「自分らしさ」を理解し、対人コミュニケーションスキルを身につけます。

PICK UP パーソナリティ心理学

「その人らしさ」を理解する

あらゆる人の行動に現れる、それぞれの「らしさ」「個人差」を学ぶ学問です。人と人の違いを多角的に理解し、心や性格について深く洞察していきます。

こんな方に
オススメ！

- 対人コミュニケーションについて興味のある方
- 良好な人間関係の築き方に興味のある方



心の理解に役立つ心理学

悩みを持つ人の問題を解決へと導いたり、相談者に寄り添い支援するためには、共感性と客観性が必要です。カウンセリングを行う際の心構えや技法を身につけていきます。

PICK UP カウンセリング論

人の心を助けるための学び

心理学の理論に基づき人を援助することを実践するカウンセリング。その基礎を修得します。またどのような場面で活用されているのか事例を学びます。

こんな方に
オススメ！

- 相手の気持ちに寄り添う傾聴力を身につけたい方
- カウンセリングマインドを身につけたい方

在学生インタビュー

評価がやる気に。

教育実習に行くのが楽しみです

美容室の経営に携わる私にとって、仕事は場所や時間を選ばずにできる状況にあります。せっかく時間に自由がきくのだから、なにか勉強して資格をとろうと思った時「過去に憧れていた小学校教諭の免許状取得を目標にしよう!」と思い立ちました。高卒だったので大学生活というものへの興味もありましたし、今までの仕事の中で従業員教育の経験もあったので、教育について学んでみたいと考えたからです。

東京未来大学を選んだのは「2セメスター・8ターム制」なので、いつ・なにを進めるかというのが明確だから。入学後は目算通り、計画的にテキスト学習に取り組んでいます。短期間で結果が見えるので、毎月やる気がでるところが気に入っています。手帳にその日に取り組む科目名とページ数を記入し、自分だけの時間割として活用。朝は2時間かけて、テキストを40ページほど読み進めます。どのテキストも興味深く、集中力が途切れることはありません。そして休日にはじっくりレポートに取り組んで学習内容を定着させています。

スクーリング科目(対面授業)で出会った、年齢や背景の違う様々な仲間とともに学び、交流する時間はかけがえのないものです。模擬授業では、「教師は役者であれ」という言葉に従い、教師になりきっています。自己流にアレンジし過ぎないように指導されたこともありますが、評価されることはありがたいし、やりがいになります。

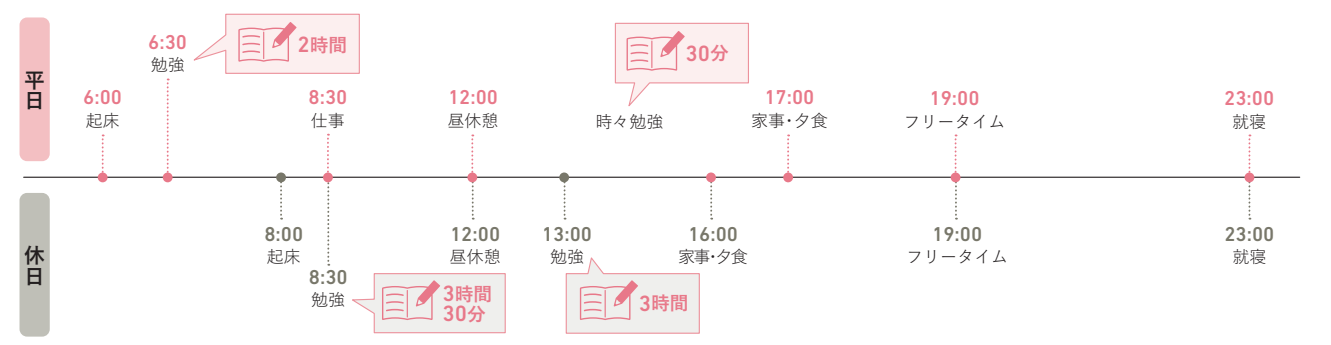
4年次では、小学校で教育実習を行う予定です。実習はとても楽しみです! 教育実習は自分の大学での学びのクライマックスのようなものだと思っています、「どんな子どもたちに出会えるのだろう」と今からワクワクしています。

遠藤 優一 さん

こども心理学部
正科生(1年次入学)

東京都在住。50代。技術者として経験を積んだ後は美容室の経営に携わっている。いずれは子どもたちが自由に出入りできる地域の居場所を作るのが目標。

スケジュール



出身大学では心理学科で健康スポーツを学び、卒業後はスポーツクラブに就職し、実業団のテニス選手となりました。

就職して初めて経験したのが、子どもたちのスイミングコーチでした。「新しいことに挑戦したい」と考えて選んだ職種でしたが、そこで驚いたのが、まったく泳げなかった子が別人のように成長する過程。もっとそばで子どもたちを支え、一緒に成長したいという思いから、小学校の先生を目指したいと考えるようになりました。しかし、父が大反対! それまで父の期待に応え、ひたすら従順に頑張ってきた私は、このときに初めて自分の意志をはっきりと言い、父と大喧嘩をしました。私の熱意に、ようやく父が折れてくれたのは数ヶ月後でした。仕事を続けながら、小学校教諭の免許状が取得可能な東京未来大学で学ぶことを自分で決めました。

東京未来大学に入学して良かったと思うのは、スケジュール調整がしやすいことです。「2セメスター・8ターム制」で、仕事の都合に合わせて履修計画を立てられるので、無理をしすぎることなく学習を進めることができています。スクーリングではグループで取り組む授業が楽しく、友人もできました。年齢も社会人経験も様々ですが、お互いに励まし合って、単位修得を目指しています。キャンパスアドバイザーの方が相談に乗ってくれるのも心強いですね。

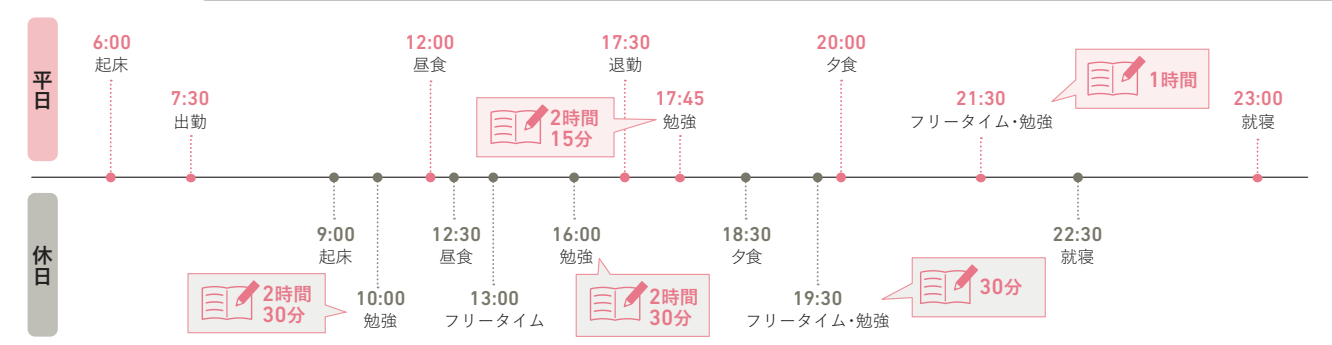
将来の目標はいろいろな子どもたちの成長を支えられる、多くの引き出しを持った教師です。「目標を見失わないこと」を軸とし、本当の意味で自立した大人になりたいと考えています。

中野 寧子 さん

こども心理学部
正科生(3年次編入学)

東京都在住。20代。大学卒業後、スポーツクラブに就職し、テニスの実業団選手として活躍。通信教育課程入学とともに転職し、現在はテニスクラブのフロント・コーチとして働きながら、小学校教員を目指している。

スケジュール



仕事も学業も充実!

友人と励まし合い、

目標に向かっていきます

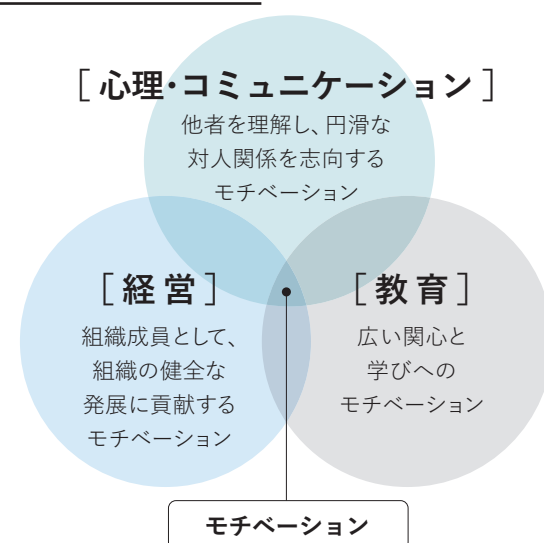
モチベーション行動科学部

モチベーション行動科学科

モチベーションを科学的に学び、自分や周囲の活性化を促す

モチベーション行動科学部では、企業や地域社会、教育現場などで、自分自身・他者・組織のモチベーション（動機づけ）をマネジメントする力を養います。モチベーションに関する研究に基づき、「心理・コミュニケーション」「経営」「教育」の3領域を複合的に学びます。

学びのポイント



身につく力

- 自分自身のモチベーションを考え、気付く力
- 他者のモチベーションを知り、協働するコミュニケーション力
- プレゼンテーション力や行動力などの組織力

学部長メッセージ



モチベーション行動科学部長
高橋 一公 教授

「モチベーション」を理解し、社会でスキルアップするために

私たちは、誰もが組織や集団に所属しています。そこでは周りの人の考えを咀嚼し、気持ちをくみ取ったうえで、自分が何をすべきかを定める力が求められます。モチベーション行動科学部では「個人をみつめる力を身につけること」「他者と関わる力を身につけること」「組織を動かす力を身につけること」の学びの到達目標である3つのディプロマ・ポリシーに基づき、モチベーションやリーダーシップを科学的に解明し、社会の中で必要なコミュニケーション能力や多面的なものの考え方を身につけていく「学び」が特長となっています。職場や家庭を離れ、自主的・自発的な発想を大事にする大学に身を置いてみると、きっとこれまでとは違った新たな「学び」を見つけ、自分の隠れた一面を発見することができるかもしれません。モチベーション行動科学部での「学び」を、積極的な人生の過ごし方や人生で自分が果たす役割のスキルアップにご活用ください。

学べる心理学の領域



モチベーションを高める心理学

モチベーションが組織に与える影響や、効果的なモチベーションアップの方法、組織を動かすためのリーダーシップ、部下の育成に役立つポジティブ心理学などを学び、組織の課題解決に活かします。

PICK UP モチベーション論 I・II

目標に向けて努力するために

日常や仕事などあらゆる場面で重要となる「意欲」を高め「努力」を維持する方法について考察し、モチベーション向上を実践する力を養います。

こんな方に
オススメ!

- マネジメント能力を高めたい管理職の方
- 部下の能力を引き出すリーダーシップを養いたい方



組織を動かす心理学

消費者心理や行動を知ることで、商品・サービスの集客や販売促進につなげたり、組織で働く人の行動や人的資源管理を考えることで、より良い職場を作り上げるなど、心理学の知識は様々な場面で活用できます。

PICK UP 経営組織論

個人を動かし、組織を動かす

人は常に何かの組織に属していて、その一員として生きています。それゆえ組織を理解するということは、社会における自分の役割を理解することにつながります。

こんな方に
オススメ!

- 組織で働く人や消費者への働きかけ方を学びたい方
- 組織や団体、プロジェクト等を率いるリーダーの方



コミュニケーションを円滑にする心理学

ビジネスシーンでは、クライアントとの商談や就職・転職活動の面接、同僚とのミーティングなど、様々な場面でコミュニケーション能力が求められます。良好な対人関係を築くための心理学の理論やテクニックを学びます。

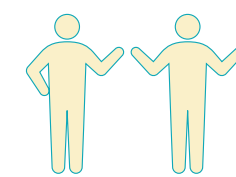
PICK UP コミュニケーションの心理学

対人関係を読み取り、人の心を動かす

私たちが普段何気なく行っているコミュニケーションや対人関係の成り立ちについて学び、皆さん自身の対人関係について客観的に考えるヒントを得ることができます。

こんな方に
オススメ!

- ビジネスで活用できる心理学を学びたい方
- 友人や同僚などとの良好な人間関係を構築したい方



人材を育てる心理学

相手の能力を引き出しながら、自発的な行動を促すコミュニケーションスキルを身につけることを目指します。ビジネスや教育の現場で、部下や生徒・児童の指導・育成に役立つ心理学を学びます。

PICK UP コーチング

相手のやる気や気付きを引き出す

部下や後輩の指導、親子関係など、対話を通して自分や相手の「やる気」「気付き」を引き出し、変化に対応する力をつけるための方法を学びます。

こんな方に
オススメ!

- 人材の採用や育成に携わる管理職、人事担当の方
- 学校などで子どもに関わる仕事に就いている方

在学生インタビュー

先生やキャンパスアドバイザーのサポートで
学びが深まっています

事情があって大学に進学できなかったのですが、上司に「今からでも遅くない」と背中を押されました。人に興味があったことに加え、仕事でもモチベーションやリーダーシップ、プレゼン能力の重要性を痛感していたところ、学びたい内容が揃っている東京未来大学のモチベーション行動科学部は最適で、通信教育なら卒業まで続けられそうだと思います。進学を決意しました。

勉強と仕事を両立するために心がけているのは、何より体調管理です。そして、学期・1ヶ月・1日単位で学習計画を立て、平日は2時間の通勤時間を利用して、テキストや学習アプリでインプットに注力。休日は学んだ内容の理解を深める時間にしています。また学習期間の合間でも勉強のペースを保つことを意識し、関連書籍を読んだり、次学期の学習内容を確認したりして余裕を持って学習を進めています。

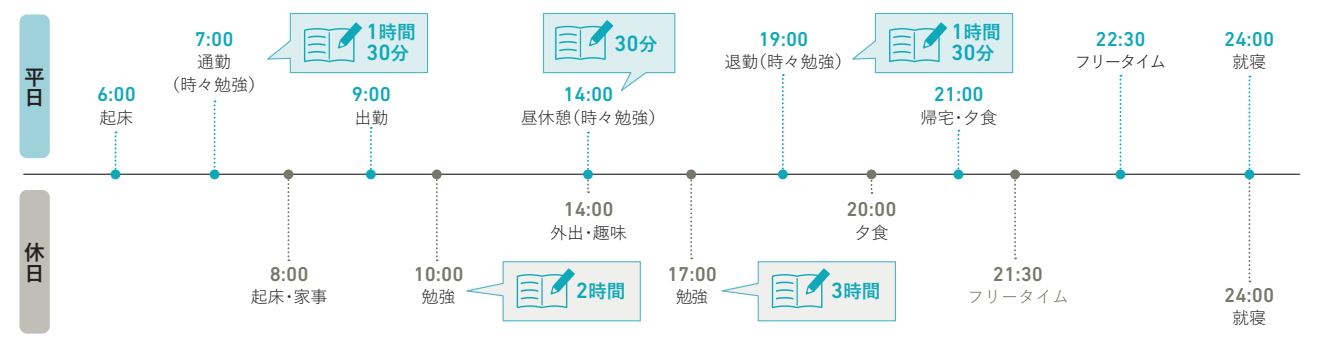
キャンパスアドバイザーや先生方のサポート体制は、期待通りでした。学んだことを実生活でどう活用できたかなどをフォーラム(質問用掲示板)に投稿すると、先生方はそれについて丁寧にコメントを返してくださるなど、実際に会っているような親しみを感じます。これまで人間関係で悩むことも少なくありませんでしたが、心理学を学んだことで相手の考え方や背景を理解し、ものごとを多面的にとらえられるようになりました。今後は、大好きなワインと心理学を融合させた新しい視点で、ワインを身近なものにする活動ができればいいなと思っています。

笹井 加奈江 さん

モチベーション行動科学部
正科生(1年次入学)

神奈川県在住。50代。酒類卸売業に従事。業務を通してワイン好きに。ソムリエ資格を生かして店頭でのワインセミナーや従業員向けのワイン教育にも携わる。

スケジュール



トレーナー・インストラクターとして「健康の提供」をテーマに仕事をするなかで、お客さまに心の健康も提供したいと考え、コミュニケーションスキルだけでなくモチベーションの知識や技術も探究したいと考えるようになりました。私自身、直面していた顧客の継続率の低下という課題が、心理学的なアプローチで解決した経験があります。継続率低下の原因は自分にあると思い当たり、接し方を変えると状況が好転したのです。もっと基礎から心理学を学びたいと考え、コミュニケーションやモチベーションについての科目が充実している東京未来大学への進学を決めました。

学習にあたっては、2週間後の中間試験から逆算して毎日1章ずつ学習、2週間で2科目の試験範囲の学習を終えるように計画して進めています。学びを通して、相手を尊重することの大切さに改めて気づき、コミュニケーションにも変化が生まれました。また、スクーリング科目(対面授業)の「国語表現」は新鮮で、接客業として言葉との向き合い方を再考する契機になりました。

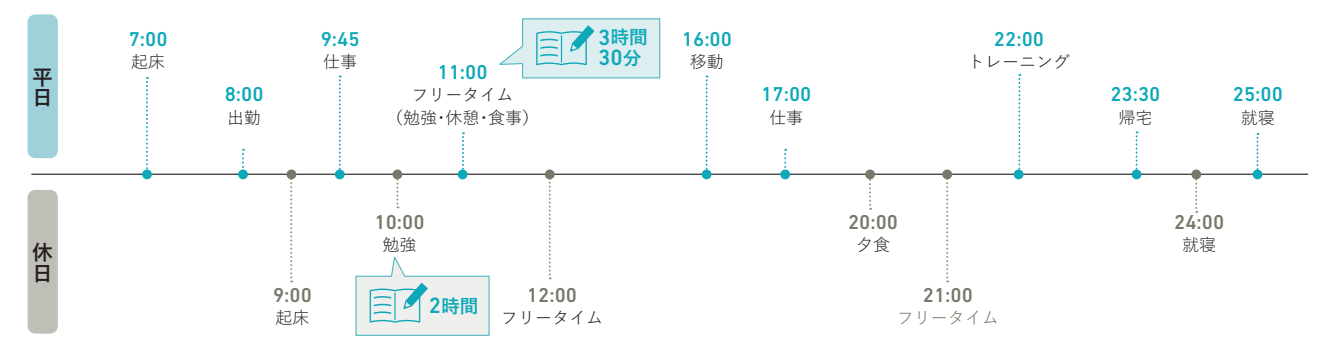
将来は、運動が好きではない人にも運動以外のアプローチで健康をサポートするとともに、企業担当者などに内面的健康のための知識を伝えて、幸福度向上と心身の健康に貢献したいと思っています。学んだ知識をいかに展開するかを考えることは楽しく、学びの原動力となっています。

千葉 英貴 さん

モチベーション行動科学部
正科生(1年次入学)

千葉県在住。40代。姿勢改善や身体の使い方を教えるパーソナルトレーナーや、スポーツクラブでの格闘技レッスンのインストラクターのほか、セミナー講師も務める。

スケジュール



お客さまに、
身体だけでなく
心の健康も提供したい

データベース

こども心理学部

男女比



女性

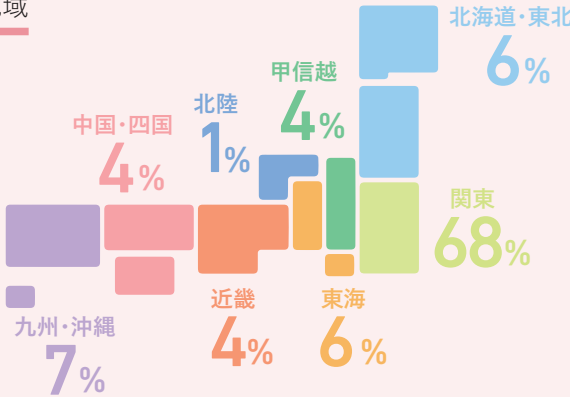
73%



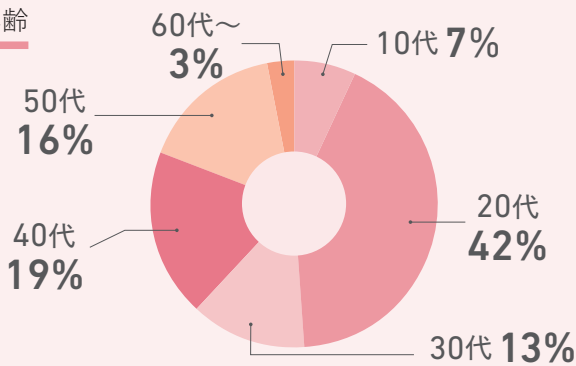
男性

27%

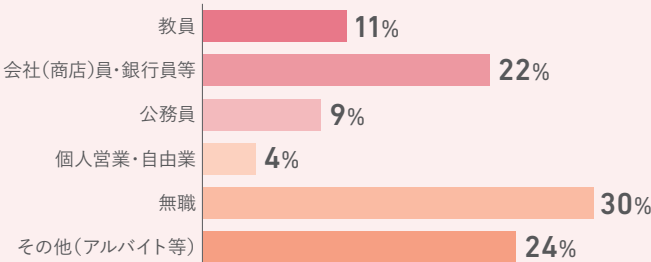
地域



年齢



職業



モチベーション行動科学部

男女比



女性

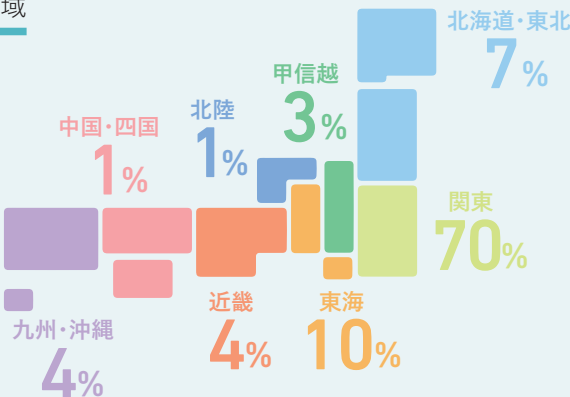
70%



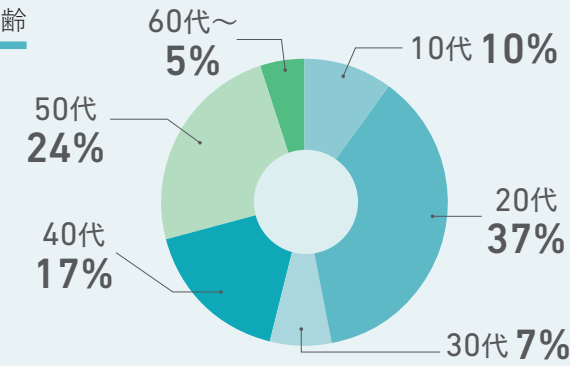
男性

30%

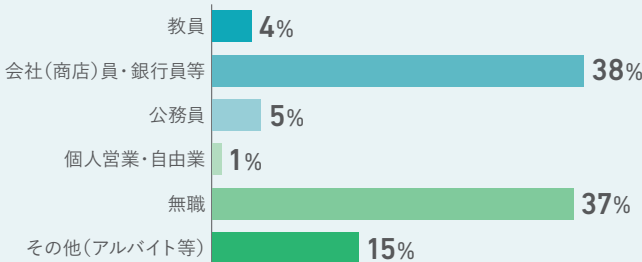
地域



年齢



職業



取得可能な資格・教員免許状・学位

取得可能な資格・教員免許状・学位は、入学する学部・コースによって異なります。
最終学歴や目指す資格等によって入学形態を選ぶことができます。

こども心理学部

入学形態	コース	取得可能な資格・教員免許状・学位
正科生 (1年次入学) ^{※1}	—	- 認定心理士 - 幼稚園教諭免許状(一種・二種) - 小学校教諭免許状(一種・二種) - 社会福祉主事任用資格 - 児童福祉司任用資格(要実務経験) - 児童指導員任用資格 - 学士(こども心理学)
正科生 (3年次編入学) ^{※2}	認定心理士・ 生涯学習コース	- 認定心理士 - 社会福祉主事任用資格 - 児童福祉司任用資格(要実務経験) - 児童指導員任用資格 - 学士(こども心理学)
	幼稚園教諭 一種免許コース	- 幼稚園教諭免許状(一種・二種) - 社会福祉主事任用資格 - 児童福祉司任用資格(要実務経験) - 児童指導員任用資格 - 学士(こども心理学)
	小学校教諭 一種免許コース	- 小学校教諭免許状(一種・二種) - 社会福祉主事任用資格 - 児童福祉司任用資格(要実務経験) - 児童指導員任用資格 - 学士(こども心理学)
科目等履修生・ 幼保特例制度受講生 ^{※3}	—	幼稚園教諭免許状／保育士資格(幼保特例制度の該当者のみ取得可能)

モチベーション行動科学部	入学形態	取得可能な資格・学位
	正科生(1年次入学) ^{※1}	- 認定心理士 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格 - 社会福祉主事任用資格 - 学士(行動科学)
	正科生(3年次編入学) ^{※2}	- 認定心理士 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格 - 社会福祉主事任用資格 - 学士(行動科学)
	科目等履修生 ^{※3}	「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格

- ※1 正科生(1年次入学)
修業年限4年(最長在籍期間10年)
高等学校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格されている方などが対象
- ※2 正科生(3年次編入学)
修業年限2年(最長在籍期間5年)
大学、短期大学、編入学資格を満たす専門学校を卒業している方などが対象
- ※3 科目等履修生・幼保特例制度受講生
登録期間6ヶ月(継続可)
高等学校卒業以上の方などが対象

学長メッセージ

本質を見抜く力量の形成を

リスクリングやリカレント教育が注目を集めるようになりました。この背景にあるのが、産業構造の急速な変化と人生100年時代の到来です。第4次産業革命ともいわれる情報技術の急速な進展によって、私たちは仕事を継続するために新たな知識の獲得や能力の向上が求められています。また、人生100年時代を迎え、従来の教育、仕事、引退という3つのステージからなる斉一的な人生モデルにかわって、一人ひとりが異なった時期に違う学び方、働き方を選び、自己の理想とする人生を追い求める、マルチステージモデルが登場しています。

こうした新しい社会状況では、これに対応する最先端のスキルや知識の習得が必要になるわけですが、他方、急激な社会変化の中では、次々に新しいスキルが求められ、これに翻弄されることとなります。このような事態で新たなスキル習得とともに必要なのは、変化の本質を見抜く力、そして変化の一つ先を見越して対処できる力量です。ここに大学で学ぶことの意味があります。

大学は真理を探究する場です。大学で学ぶ内容は、定着し常識化した事柄ではありません。今まさに生まれつつある新たな概念であり、現象です。新たな知の創出に立ち会い、時にその当事者となること、それが大学で学ぶということであり、この体験が社会変化の本質を見抜く力を養ってくれるはずです。

本学通信教育課程は、皆さんの新たなスキルの獲得や資格取得に向けて確実な支援をするとともに、社会に対する確かな理解力、思考力を養う学びを提供しています。

学長 塚本 伸一

教職員紹介

学長



塚本 伸一

立教大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学、博士（心理学）。国立上越教育大学助教授、立教大学文学部教授、同現代心理学部教授を経て、2022年4月立教大学名誉教授。この間、同大副総長、現代心理学部長、学校法人立教学院理事を歴任。現在、東京未来大学学長、学校法人三幸学園理事、日本応用心理学会理事。

〔専門〕 発達心理学、教育心理学
〔主な著書〕 共著『応用心理学ハンドブック』（福村出版）、編著『現代心理学への招待』（樹村房）

副学長・こども心理学部長



出口 保行

東京学芸大学大学院修了後、国家公務員心理職として法務省入省。犯罪者を心理分析する資質鑑別に従事。この他、法務省大臣官房秘書課勤務や国連派遣等を経験。法務省法務総合研究所研究部室長研究官を最後に退官し現職。現在、各テレビ局の報道番組等、メディア出演多数。

〔専門〕 犯罪心理学
〔主な著書〕 『犯罪心理学者が教える 子どもを呪う言葉・救う言葉』（SB新書）、『犯罪心理学者は見た 危ない子育て』（SB新書）、編著『子どもを「まもる」心理学』（福村出版）、『犯罪心理学見るだけノート』（宝島社）

モチベーション行動科学部長



高橋 一公

明星大学大学院人文学研究科心理学専攻修士課程修了。一般企業の企画開発部にて通性検査等の開発に従事。その後、身延山大学、群馬医療福祉大学の准教授を経て現職。臨床発達心理士、精神保健福祉士。

〔専門〕 生涯発達心理学
〔主な著書〕 編著『発達心理学15講』（北大路書房）、編著『青年心理学』（サイエンス社）、編著『心理学の世界』（サイエンス社）

こども心理学部（五十音順）



有村 さやか

東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程音楽教育専攻作曲講座修了。教育学修士。小田原短期大学保育学科教授等を経て現職。作曲家として国内外の音楽祭にて作品発表を行う。また、地域の保育現場や現任研修など音楽表現の各講師を務める。

〔専門〕 作曲表現、幼児の音楽教育、保育者養成における音楽表現の教育
〔主な著書〕 編著『保育のためのやさしい子どもの歌』（ミネルヴァ書房）、編著『子どものための音楽表現技術』（朝文書林）、共著『保育内容「表現」』（ミネルヴァ書房）ほか



今井 康晴

広島大学大学院教育学研究科学習開発専攻博士後期課程単位取得満期退学後、武蔵野短期大学助教、専任講師を経て現職。埼玉県保育研究会助言者、保育園への園内研修講師等保育実践現場との研究活動を行っている。

〔専門〕 教育学、保育学、教育課程論、教育方法学
〔主な著書〕 『保育原理』（東信堂）、『保育者・小学校教諭・特別支援学校教諭のための教職論』（北大路書房）



大内 善広

早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。修士（教育学）。早稲田大学教育学部助手、帝京学園短期大学講師、城西国際大学准教授を経て、現職。父親の子育て支援、子育てへの動機づけ、少人数教育の効果、教育へのICT活用、言葉指導法、リカレント教育などの研究に携わっている。

〔専門〕 教育心理学、教育工学、言葉指導法
〔主な著書〕 共著『できる教師の⑧テクニク① 3ステップでらくらく 1年間の通知表文例177』（教育開発研究所）、共著『教職に生かす教育心理学』（みらい）



大橋 智

立教大学大学院現代心理学研究科博士後期課程単位取得退学。教育相談室相談員、巡回相談員、明星大学心理学部実習指導員を経て、現職。地域における臨床心理学的援助のシステム作りや学校コンサルテーションに従事。臨床心理士。

〔専門〕 臨床心理学的地域援助、応用行動分析
〔主な著書〕 『学校支援に活かす行動コンサルテーション実践ハンドブック：特別支援教育を踏まえた生徒指導・教育相談への展開』（学苑社）、翻訳『学校コンサルテーション統合モデルによる特別支援教育の推進』（学苑社）



大村 美菜子

立正大学大学院心理学研究科博士後期課程修了後、品川区教育相談員、聖路加看護大学相談室カウンセラー、東京福祉大学相談室カウンセラー、目白大学助教を経て現職。臨床心理士、公認心理師。

〔専門〕 臨床心理学
〔主な著書〕 『青年期女子における臍形恐怖性心とその関連要因』（風間書房）



金子 彩子

立教大学大学院現代心理学研究科心理学専攻博士課程後期過程修了。博士（心理学）。日本学術振興会特別研究員(PD)、立教大学現代心理学部心理学科助教を経て現職。知覚の個人差と対人コミュニケーションとの関係性の解明に取り組んでいる。

〔専門〕 知覚心理学
〔主な著書〕 共著『科学から理解する自閉スペクトラムの感覚世界』（金子書房）



川口 めぐみ

北海道大学大学院教育学院修了。札幌大谷大学短期大学部保育科専任講師、駒沢女子短期大学保育科専任講師等を経て現職。視覚刺激と感情の関連について研究している。現在は、子どもの発達を支える大人の言葉刺激について興味を持ち研究を行っている。

〔専門〕 発達心理学、感情心理学
〔主な著書〕 編著『保育の心理学 育ってほしい10の姿』（中山書店）、共著『子育て支援』（中山書店）



木内 菜保子

岡山大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了後、中国短期大学、川崎医療短期大学、関西福祉大学の非常勤講師を務めた後、中国学園大学子ども学部専任講師、同大学准教授を経て現職。子どもと作るワークショップやビジュアル言語をテーマに表現教育を研究している。

〔専門〕 教育学、表現教育



小谷 博子

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士（医学）。日本学術振興会特別研究員、東京電機大学先端工学研究所助手を経て現職。医療的ケア児と家族の支援、小児在宅医療の研究に従事。

〔専門〕 育児工学
〔主な著書〕 『出産で女性には賢くなる』（ごま書房）、『30才からのオメダトレーニング』（新紀元社）、『私が一番輝くとき - 自然なお産にチャレンジ!』（医学映像教育センター）



井梅 由美子

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学。相模女子大学、山梨英和大学、青山学院女子短期大学非常勤講師等を経て現職。他に精神科クリニック、小児科にてカウンセラーとして勤務。臨床心理士。

〔専門〕 臨床心理学
〔主な著書〕 共著『はじめて学ぶ心理学』（大学図書出版）、共著『保育実践と家庭支援論』（勁草書房）



岩井 真澄

都内の私立幼稚園にて担任、主任として勤務し、その後東京家政大学大学院人間生活学総合研究科児童学児童教育学専攻修士課程を修了。東京未来大学特任講師、大妻女子大学助教を経て現職。主に幼児教育におけるオペレッタについて研究している。

〔専門〕 幼児教育
〔主な著書〕 共著『実践例から学びを深める保育内容・領域言葉指導法』（わかば社）、共著『ICT×保育を考える 保育内容総論』（建帛社）



太田 英樹

千葉大学大学院教育学研究科特別支援専攻修了。東京都立知的障害特別支援学校教諭として勤務。特別支援学校センターの機能の一環としてコーディネーターとなり、地域の巡回相談、教育相談、研修会講師に取り組む。

〔専門〕 特別支援教育
〔主な著書〕 共著『特別支援教育時代の青年期教育』（群青社）



大橋 恵

東京大学大学院人文社会系研究科社会心理学専攻修了。博士（社会心理学）。放送大学や東京学芸大学等の非常勤講師を経て現職。潜在的な態度や地域スポーツでの人間関係などが現在のテーマ。専門社会調査士。

〔専門〕 社会心理学、文化心理学、教育心理学
〔主な著書〕 共著『ジュニアスポーツコーチに知ってほしいこと』（勁草書房）、編著『集団の心理学』（サイエンス社）、共著『部活動指導員ガイドブック』（ミネルヴァ書房）



荻野 昌秀

佛教大学大学院教育学研究科修了。足立区非常勤職員、常勤職員、埼玉東萌短期大学講師を経て現職。足立区特別支援教育アドバイザー。発達障害のあるお子さんやその保護者の支援、保育者・教員への研修やコンサルテーションに取り組んでいる。公認心理師、臨床心理士。

〔専門〕 発達心理学
〔主な著書〕 共著『保育の心理学－子ども理解をケアにつなげる－』（教育情報出版）



紙本 裕一

広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（教育学）。広島県の附属中学校、公立中高等学校での非常勤講師、梅光学院大学子ども未来学部専任講師を経て現職。専攻領域は数学教育と計量書誌学。日本語分析、論文の書き方について研究している。

〔専門〕 数学教育、計量書誌学
〔主な著書〕 溝口 達也・岩崎 秀樹編『これだけは知っておきたい 小学校教師のための算数と数学』（ミネルヴァ書房）



川原 正人

筑波大学大学院人間総合科学研究科退学。大学附属相談施設、小・中学校のスクールカウンセリング、自衛隊医務室などで臨床活動を経て現職。臨床心理士。

〔専門〕 臨床心理学
〔主な著書〕 『現代のエスプリ 発達障害とパーソナリティ障害 新たな邂逅』（ぎょうせい）、『子ども心理辞典』（一藝社）、『認知行動療法事典』（日本評論社）



越川 葉子

立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程後期課程単位取得退学後、立教大学文学部教育学科助手、秋草学園短期大学講師、准教授を経て現職。社会で問題とされる現象がどのように成り立っているのか、問題の当事者とされる人々はいかなる経験をしているのかを明らかにすることをテーマとしている。

〔専門〕 教育学、教育社会学
〔主な著書〕 共著『コンパス保育内容人間関係(第6章)』（建帛社）、『いじめ問題』にみる生徒間トラブルと学校の対応－教師が語るローカル・リアリティに着目して（教育社会学研究第101集）



小林 久美

福岡教育大学大学院教育学研究科家政教育専攻修士課程修了。九州女子短期大学助手、九州女子大学助手・講師、東京未来大学准教授を経て現職。

〔専門〕 家庭教育
〔主な著書〕 共著 松本峰雄監修『子どもの食と栄養演習ブック』（ミネルヴァ書房）、共著 中西雪夫・小林久美・貴志倫子編『小学校家庭科の授業をつくる 理論・実践の基礎知識』（学術図書）



小林 祐一

千葉大学大学院修士課程修了(教育学)、東京都公立小学校教諭、東京学芸大学教職大学院(現職教員派遣プログラム)、東京都北区教育委員会指導主事、沖縄女子短期大学児童教育学科講師を経て現職。小学校教員時代から、地域を巻き込んだまちづくりの授業を実践してきた。教育行政では保幼小連携事業を担当。

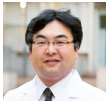
〔専門〕 教育方法学、教師教育学
〔主な著書〕『教育ネットワークの構築方法に関する一考察』(東京学芸大学教職大学院年報第2集)、共著『小学校低学年教科における教育専用タブレットPCを用いた授業実践』(コンピュータ&エデュケーションvol.41)



佐藤 亮太郎

明治学院大学心理学部教育発達学科卒業。明治学院大学大学院心理学研究科教育発達専攻修了。筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群障害科学学位プログラム(博士後期)修了。博士(障害科学)。臨床発達心理士。不登校や発達障害、いじめ等、学齢期の諸問題について実践を行っている。

〔専門〕 教育心理学、特別支援教育、応用行動分析学
〔主な著書〕共著『中高生のソーシャルスキルトレーニング「話し合い活動」を取り入れた青年期の諸課題への対応』(金子書房)



鈴木 哲也

筑波大学大学院教育学研究科博士課程満期退学、埼玉純真短期大学や千葉大学、立教大学、さらには公立中学校・私立中・高の非常勤講師の経験後、秀明大学学校教育学部専任講師を経て現職。

〔専門〕 理科教育学、環境教育学
〔主な著書〕共著『学校飼育動物と生命尊重の指導』(教育開発研究所)



高橋 文子

千葉大学教育学部卒業、茨城大学大学院修士課程修了。茨城県内の小・中学校、茨城大学教育学部附属中学校教諭を経て現職。印象派の補色対比の効果を理解する授業実践、教育的線描論、記憶スケッチ、教師のための芸術知など感性と学び合いをテーマに研究をしている。

〔専門〕 美術教育
〔主な著書〕共著『子ども学への招待』(ミネルヴァ書房)、共著『初等図画工作科教育』(ミネルヴァ書房)



竹内 貞一

東京学芸大学教育学部音楽科卒業。同大学院音楽教育専攻音楽科教育講座修了。早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修了。子どもの発達過程で見られる音楽表現を軸に、音楽をとおして人と人の間に生じるコミュニケーションを心理学的な視点から捉え、授業・保育に活かすことが現在の研究テーマ。

〔専門〕 音楽教育、音楽心理学、芸術療法
〔主な著書〕編著『保育者養成のための音楽表現－模擬実践をとおして学ぶ－』(大学図書出版)、共著『新音楽の授業づくり』(教育芸術社)



藤後 悦子

筑波大学教育研究科修了、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科単位取得満期退学。筑波大学にて博士号(学術)取得。臨床心理士として、学校、保育園、子育て支援、スポーツ現場などに携わる。スポーツハラスメント、保育の場における家庭支援、学校臨床などが研究テーマ。

〔専門〕 コミュニティ心理学、臨床心理学、発達心理学
〔主な著書〕編著『社会的子育ての実現－人となりがり社会をつなく、保育カウンセリングと保育ソーシャルワーク』(ナカニシヤ出版)、編著『スポーツで生き生き子育て&親育ち』(福村出版)



鳥海 弘子

白梅学園大学大学院子ども学研究科修士課程修了。長年、公立保育所の看護師として勤務。秋草学園短期大学専任講師を経て現職。看護師、保育士。

〔専門〕 子ども学、小児保健
〔主な著書〕共著『保健衛生・安全対策』(ミネルヴァ書房)、共著『幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト 保健衛生・安全対策』(中央法規)



中塚 良子

山梨大学教育人間科学部卒業後、幼稚園教諭、保育士として勤務。白梅学園大学大学院修士課程修了。長岡こども・医療・介護専門学校講師、松山東雲短期大学保育学科助教、貞静学園短期大学講師を経て現職。乳児保育とその歴史の研究に取り組んでいる。

〔専門〕 乳児保育
〔主な著書〕『保育者論－実践力を育み専門性を培う』(ななみ書房)、『乳児保育Ⅰ・Ⅱ 豊かな乳児保育をめざして』(IKコーポレーション)



野澤 義隆

立正大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。帝京学園短期大学、立正大学、東京都市大学の教員を経て現職。夫婦関係の発達や育児ストレス緩衝効果の研究、父親の育児意欲などの研究を行いながら、埼玉県保育士等キャリアアップ研修や子育て支援関連施設での研修会講師を務める。社会福祉士。

〔専門〕 社会福祉学、子ども家庭福祉
〔主な著書〕『保育と社会的養護Ⅰ』(みらい)、『社会福祉』(ミネルヴァ書房)



佐々木 由美子

白百合女子大学大学院博士課程単位取得満期退学。鶴川女子短期大学准教授を経て現職。子ども独自の世界に惹かれ、子どもの文化・文学を研究。子どもの物語受容のあり方や、育ちと文化の関わりが目下の研究テーマ。

〔専門〕 児童文化・文学、幼児教育
〔主な著書〕共著『子どもの本と<食>』(玉川大学出版部)、共著『保育者のための児童文化』(大学図書出版)



白石 雅紀

岩手県立大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学、秋田看護福祉大学看護福祉学部助教、修紅短期大学幼児教育学科講師を経て現職。社会福祉士。博士(社会福祉学)。

〔専門〕 社会福祉、国際社会福祉
〔主な著書〕共著『「実践」が(理論)をコントロールするのであって、(理論)が「実践」をコントロールするのではない』(ブイツーソリューション)



須田 誠

慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学医学部非常勤講師、武蔵野大学通信教育部専任講師を経て現職。公認心理師・臨床心理士として、市民や専門家に対する不登校・ひきこもり・発達障害・いじめ・自殺予防等の心理教育に携わる。

〔専門〕 臨床心理学、非行心理学、心理療法
〔主な著書〕共著『健康』(福村出版)、共著『はじめて学ぶ発達心理学』(大学図書出版)、共著『子ども学への招待』(ミネルヴァ書房)、共著『子どもを「まもる」心理学』(福村出版)



宅間 雅哉

国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程英語教育法専修修了(教育学修士)。山梨大学非常勤講師、山梨県立女子短期大学非常勤講師、神奈川大学非常勤講師、山梨英和短期大学専任講師、同助教、山梨英和大学教授を経て現職。

〔専門〕 英語学、英国の地名研究



坪井 寿子

学習院大学大学院博士後期課程を中途退学。その後鎌倉女子大学にて、主に認知心理学、発達心理学、教育心理学の教育・研究活動に従事。都内の幼稚園・保育園・小学校の巡回相談員を経験。臨床発達心理士、学校心理士。

〔専門〕 認知心理学、発達心理学
〔主な著書〕『心理学 ころと行動のメカニズムを探る』(樹村房)



利根川 智子

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学後、会津大学短期大学部専任講師・助教・准教授、東北福祉大学准教授を経て、現職。保育者養成、乳幼児の社会性に興味を持ち、研究を行っている。

〔専門〕 保育、発達心理学
〔主な著書〕共著『アタッチメント 生涯にわたる絆(第9章)』(ミネルヴァ書房)



永井 伸人

国士舘大学体育学部体育学科卒業。人間総合科学大学大学院修士課程人間総合科学研究科心身健康科学専攻通信教育課程修了。國學院高等学校、國學院大学幼児教育専門学校、二松學舍大学非常勤講師、大阪成蹊短期大学幼児教育学科専任講師を経て現職。「心と体」の健康づくりをテーマに活動をしている。

〔専門〕 子どもの体育、運動指導法、健康
〔主な著書〕共著『乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび』(大学図書出版)、共著『新・保育と健康』(嵯峨野書院)、共著『幼児体育(上級)理論と実践』(大学教育出版)



西山 悦子

東京都小学校教員として37年間勤務。放送大学大学院修士課程修了。主幹教諭、指導教諭として学校内外の若手人材育成を行う。令和7年度に退職して現職。国語科教育における論理的思考力・表現力の育成をテーマとして研究に取り組んでいる。

〔専門〕 国語科教育
〔主な著書〕共著『小学校国語科 どの子も必ずかけるようになる「書くこと」の授業づくり』(明治図書)、共著『論理的思考力を育てる 書く力・考える力アップワーク』(明治図書)



橋元 知子

明治大学大学院国際日本学研究科博士後期課程修了。博士(国際日本学)。こども教育宝仙大学助教(非常勤)、早稲田大学非常勤講師、フェリスiaこども短期大学専任准教授等を経て現職。小学校英語教育教員研修講師、小学校英語教育推進員研修講師、小学校での読み聞かせ活動等にも取り組む。保育士。

〔専門〕 応用言語学、第二言語習得論
〔主な著書〕共著『すぐに使えるIt's 英会話』(Jリサーチ出版)



日向野 智子

東北福祉大学社会福祉学部卒業、昭和女子大学大学院生活機構研究科博士後期課程修了。博士(学術)。立正大学心理学部特任講師を経て現職。対人関係における苦手意識や保育士のコミュニケーション・スキルなどを研究している。

〔専門〕 社会心理学
〔主な著書〕編著『子ども学への招待』(ミネルヴァ書房)、共著『組織行動の心理学』(北大路書房)、共著『心理学概論』(ナカニシヤ出版)



藤本 昌樹

東京学芸大学大学院教育学研究科心理学講座修了、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科修了、博士(看護学)。公認心理師、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士。こども、家族を対象とした心理臨床の現場からスタートして、現在、トラウマケアについての実践的研究を行っている。

〔専門〕 臨床心理学、発達心理学、トラウマケア
〔主な著書〕編著『子どもの成長を支える発達教育相談(第4版)』(北樹出版)、『毒親の呪いを解く 音楽CDブック』(マキノ出版)



山口 慎史

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科修了。博士(スポーツ健康科学)、公認心理師、専門健康心理士。順天堂大学スポーツ健康科学部、東京女子医科大学医学部を経て現職。健康心理学およびスポーツ心理学を専門とし、大学生のメンタルヘルスや心理的な傷つきに関する研究に取り組んでいる。

〔専門〕 社会心理学、健康心理学、スポーツ心理学
〔主な著書〕共著『運動研究のツール』(人類動態学会)



横畑 泰希

東洋大学法学部卒業後、民間企業会社員を経て、立正大学文学部卒業、淑徳大学大学院総合福祉研究科博士後期課程満期退学。民間保育園、保育団体、福島学院大学等を経て現職。臨床発達心理士として、乳幼児から大人までの心理臨床、発達障害児の療育にも携わっている。

〔専門〕 発達臨床心理学、乳児保育
〔主な著書〕『保育内容・領域 言葉 演習と講義』、共著『乳児保育 演習と講義 改訂版』(以上、クオリティケア)、共著『ライブステージを見通した障害児の保育・教育』(みらい)



阿部 昇

秋田大学教育文化学部教授、秋田大学大学院教育学研究科教授を経て現職。秋田大学名誉教授。日本教育方法学会理事。小学校中学校国語教科書編集委員(光村図書)、2007～2019年秋田県検証改善委員会委員長。読み方教育、探究型授業、学習集団、学力調査等の研究を行っている。

〔専門〕 国語科教育学、教育方法学
〔主な著書〕『国語力をつける物語・小説の「読み」の授業』『文章吟味力を鍛える』『アクティブ・ラーニングを生かした探究型の授業づくり』(以上、明治図書)他



三國 隆子

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学後、郡山女子大学専任講師、東京立正短期大学教授を経て現職。現在は、保育所・学童保育複合施設を対象に、幼児期から児童期の発達のつながりについて、園舎等、建築の要素を含めた環境の視点から研究している。

〔専門〕 発達心理学、こども環境学
〔主な著書〕共著『実践事例に基づく障害児保育 ちょっと気になる子への関わり』(保育出版社)、共著『育ち・子育て支援学』(保育出版社)



森高 光広

千葉大学教育学部卒業。小・中・高校(美術)教員免許取得。公立中学校勤務後、千葉大学附属小学校勤務。植草学園大学発達教育学部教授を経て、植草学園大学名誉教授。現在、他にも教員、非常勤講師、私立幼稚園で放課後造形教室も担当する。長年、小学校、中学校の読書感想面指導実践に関わる。

〔専門〕 造形教育、図画工作科教育
〔主な著書〕共著『子どもの心に語りかける表現教育』(あいり出版)、共著『造形表現』(一藝社)、共編著『表現教育にはそんなこともできるのか』(あいり出版)



廣戸 健悟

東京大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。保育士資格。専門は発達心理学。幼児期の向社会的行動(人を助ける・思いやる)の発達や、道徳性が育つ過程を、保育現場で研究している。

〔専門〕 発達心理学



真家 英俊

東京学芸大学大学院教育学研究科修了。三幸学園グループのリゾート&スポーツ専門学校(東京校、横浜校)の教員を経て現職。身体運動を調節するメカニズムに興味を持ち、特に幼児・児童期における姿勢調節の発達過程について研究している。

〔専門〕 運動生理学、スポーツバイオメカニクス
〔主な著書〕共著『保育内容「健康」-幼稚園教諭・保育士をめざす-』(主文社)



横地 早和子

名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程修了。博士(心理学)。東京大学大学院教育学研究科特任助教を経て現職。

〔専門〕 認知心理学、教育心理学
〔主な著書〕『創造するエキスパートたち:アーティストと創作ビジョン』(共立出版)、編著『触発するアートコミュニケーション』(あいり出版)



浅井 かおり

東京都や神奈川県私立幼稚園、私立保育所等に勤務。その後、東京家政大学大学院人間生活学総合研究科児童学児童教育学専攻修士課程を修了。専門学校及び大学の勤務を経て現職。保育者のキャリア形成や保育者養成に関連する研究を行っている。

〔専門〕 保育学



大久保 雅史

私立保育所、専門学校の非常勤講師等を経て現職。白梅学園大学大学院修士課程子ども学研究科子ども学専攻を修了。

〔専門〕 子ども学、保育学、幼児教育学



柴田 啓一

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得満期退学。鶴川女子短期大学専任講師を経て現職。保育労働とジェンダーの問題や、男性保育者のキャリア形成等に関心があがり研究を進めている。また、男性の育児の問題にも関心があり、父親を対象とした子育て講座の講師も務めている。

〔専門〕 家族社会学、労働社会学
〔主な著書〕 共著『子ども家庭支援論』(建帛社)、共著『保育士をめざす人のための施設実習ガイド』(みらい)



津田 昌明

東京学芸大学教育学部学校教育科卒業後、東京都内の公立小学校教諭、主幹教諭、副校長、校長を経て現職。教員養成にかかわる教育実習事前事後の指導、教職研実践演習を担当。

〔専門〕 初等教育学、学級経営、体育科学習



宮下 恵理

公立保育所に勤務。その後児童発達支援事業所にて幼児の発達支援に携わり、障害者入所施設(グループホーム)の支援員としての知的及び身体に障害がある方のサポート業務を経て現職。

〔専門〕 保育学



五十嵐 淳

早稲田大学教育学部教育学科体育学専修卒業、茨城県公立小・中学校教諭、教頭、校長を経て現職。茨城大学大学院教育学研究科修了。修士(教育学)。茨城県龍ヶ崎市学校長会長、早稲田大学教師教育研究所事務局長を務める。玉川大学客員教授、早稲田大学等で非常勤講師を務める。

〔専門〕 教育学、学校現場における教育実践(学校経営、生徒指導、特別活動)
〔主な著書〕 『「荒れた学校」再生への挑戦－警察との協働が学校を変える－』(一筆書房)、共著『生きる力を育む授業－道徳・総合・特別活動・生徒指導－』(大学図書出版)



大谷 美幸

企業に勤務後、東京未来大学こども心理学部こども心理学科通信教育課程を卒業。子ども支援センター、小・中学校、幼稚園で支援が必要な児童、生徒へのサポート業務、不登校支援を経て現職。



鈴木 亮太

茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了、早稲田大学教育学部大学院教育学研究科博士後期課程(同大学採用の為)中退、修士(教育学)。民間企業経験後、公立小中学校教諭・管理職を経て現職。早稲田大学、白百合女子大学、中央学院大学等で非常勤講師、さらに早稲田大学教師教育研究所にて、教師のあり方等について研究している。

〔専門〕 教育学
〔主な著書〕 編著『今こそ総合 教師が育つ、子どもが育つ』(大日本図書)、『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』(文部科学省)、『中等教育資料』(ぎょうせい)



平原 藍

白梅学園大学大学院子ども学研究科修士課程修了。修士(子ども学)。彰栄保育福祉専門学校専任講師を経て現職。保育現場のマネジメントや園運営、園長職、保育者の熟達化を専門に研究している。保育実践と組織運営に関心を持つ。

〔専門〕 保育現場のマネジメント、子ども学



島内 晶

明治学院大学大学院心理学研究科博士後期課程修了。博士(心理学)。(地独)東京都健康長寿医療センター研究所(旧・東京都老人総合研究所)研究補助員・研究生、群馬医療福祉大学社会福祉学部准教授を経て、現職。高齢者の記憶の認識、記憶愁訴、記憶の誤りなどについて研究を行っている。

〔専門〕 高齢者心理学、生涯発達心理学
〔主な著書〕 共著『発達心理学－健やかで幸せな発達をめざして－』(丸善出版)、共著『高齢者のこころとからだ事典』(中央法規出版)



田澤 佳昭

日本大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学後、追都大学講師、同准教授を経て現職。尖閣諸島をめぐる日・中対立など、中国と周辺諸国が対立する沖合島嶼の領有権問題や、海洋境界画定問題の研究に取り組んでいる。

〔専門〕 国際政治



中澤 純一

中央大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程修了、学校法人興誠学園 浜松学院中学校・高等学校教諭を経て現職。多様性の尊重及び社会正義の実現の視点から、マジョリティである日本人児童生徒の意識変容のための単元開発・授業づくりを研究・実践上の課題としている。博士(教育学)。

〔専門〕 多文化教育学、国際理解教育、社会科教育学
〔主な著書〕 共著『社会科における多文化教育－多様性・社会正義・公正を学ぶ－』(明石書店)



森下 一成

早稲田大学大学院政治学研究科、同理工学研究科修士課程修了。沖縄の公共空間を研究テーマとし、琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。上武大学ビジネス情報学部准教授などを経て現職。自らまちづくりに携わり、それに参加する学生のキャリア形成を促すことを研究・教育上の課題としている。

〔専門〕 都市・地域計画、地域社会、キャリア教育
〔主な著書〕 共著『公民教育辞典』(第一学習社)、『社会科学ザ・ベスト・プラス』(エクシア出版)



山崎 善弘

関西大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程修了後、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター研究員、奈良教育大学教育学部准教授を経て現職。博士(文学)。ハーバード大学東アジア言語・文明学部招聘研究員(2020年)。ノースウェスタン大学ニコラス・D・チャブラジャ歴史研究センター招聘研究員(2026年)。

〔専門〕 日本近世・近代の政治経済史・地域社会史
〔主な著書〕 『日本近世の国家・領土支配と地域社会』(桐書房)、『村役人のお仕事 増補改訂版』(東京堂出版)



田子 和詩

成城大学大学院社会イノベーション研究科博士課程後期修了。博士(社会イノベーション学)。同大学院修了後、現職。専門分野は経営戦略論、経営組織論。研究テーマは経営層の連携や協働に関する実証的研究。

〔専門〕 経営戦略論、経営組織論



田中 真奈美

1985年に留学生として渡米、サンフランシスコ大学で社会学(学士)、教育カウンセリング(修士)、国際多文化教育(博士)取得。博士(教育学)。アメリカで幼稚園から大学まで幅広い教育経験を持つ。研究分野は在米22年の経験を生かし、異文化間教育、異文化間コミュニケーション、アイデンティティ、異文化適応など。

〔専門〕 国際・多文化教育
〔主な著書〕 共著『ノンフォーマル教育から公教育への多文化共生に向けた提言－日本、アメリカ、タイの事例から』(外為印刷)



埴田 健司

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。追手門学院大学心理学部特任助教、東京未来大学モチベーション行動科学部講師を経て現職。社会的判断・行動に関わる非意識的な心理過程について研究している。

〔専門〕 社会心理学、社会的認知
〔主な著書〕 共著『リベラルアーツとしての社会心理学』(八千代出版)、共著『集団心理学』(サイエンス社)、共訳『システム正当化理論』(ちとせプレス)



山極 和佳

早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了後、早稲田大学助手、東京福祉大学講師、東京未来大学講師、准教授を経て現職。博士(人間科学)。公認心理師、臨床心理士として、臨床心理実践に取り組んでいる。

〔専門〕 臨床心理学
〔主な著書〕 『生理的緊張パターンからとらえた催眠の意識状態の特性に関する研究』



石橋 里美

青山学院大学文学部卒業後、大手メーカー営業・人事職に従事した後、信州大学大学院人文学部研究科地域文化専攻社会心理学領域修了。芝浦工業大学、東京国際大学、東京未来大学他の非常勤講師を経て現職。

〔専門〕 産業・組織心理学
〔主な著書〕 『キャリア開発の産業・組織心理学ワークブック【第2版】』(ナカニシヤ出版)、共著『社会心理学:シリーズ心理学と仕事10』(北大路書房)



岩崎 智史

立正大学大学院文学研究科修士課程修了。立正大学大学院心理学研究科博士課程修了後、現職。主に人間の情報処理と気分を対象に調査・研究を行っていたが、近年では感覚、感性に研究対象をシフト中。

〔専門〕 認知心理学
〔主な著書〕 共著『東京未来大学テキストシリーズ情報処理Ⅱ』(ムイスリ出版)



金塚 基

早稲田大学大学院教育学研究科単位取得退学、帝京大学福祉・保育専門学校専任講師を経て現職。主な問題関心のテーマは教育と貧困。博士(教育学)。

〔専門〕 教育と多文化共生
〔主な著書〕 共編『グローバル教育の現在』(ムイスリ出版)



磯 友輝子

名古屋大学文学部卒業、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期退学。大阪大学大学院人間科学研究科助手の後、本学こども心理学部講師、准教授を経て現職。会話中のしぐさや良好な対人関係に必要なスキルについて研究している。

〔専門〕 社会心理学
〔主な著書〕 『暮らしの中の社会心理学』(ナカニシヤ出版)、『幸福を目指す対人社会心理学－対人コミュニケーションと対人関係の科学－』(ナカニシヤ出版)



郭 潔蓉

ボストン大学大学院国際関係学修士課程、筑波大学大学院社会科学研究科博士課程修了後、大東文化大学、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院の教職を経て現職。グローバル人材の育成に取り組んでいる。博士(法学)。

〔専門〕 東アジア・東南アジア政治経済、国際経営環境分析
〔主な著書〕 共著『統計データで読み解く移動する人々と日本社会』(ナカニシヤ出版)、共著『3. 11後の多文化家族』(明石書店)



小林 寛子

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位修得満期退学後、日本学術振興会特別研究員PDを経て現職。理解や問題解決などの認知活動における不適応の問題に、個別学習指導や授業改善を通して、取り組んでいる。博士(教育学)。

〔専門〕 教育心理学、認知心理学
〔主な著書〕 共著『教育心理学の実践ベース・アプローチ実践しつつ研究を創出する一』(東京大学出版会)、共著『自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術』(北大路書房)

CAとは、入学した学生一人ひとりに対して複数名体制で担当し、様々な質問や相談に対応する職員です。入学から卒業まで安心して学びを続けられるよう、しっかりサポートする本学独自の制度です。



杉本 純哉



荒川 薫



石川 祥子



川井 初美



轡田 奈津子



菅原 恵



関 厚美



田中 英里



松橋 めぐみ



村田 涼美



八木 紀子



山口 茉莉



山ノ内 玲奈

教育理念

(通信教育課程 抜粋)

東京未来大学の教育理念
全文はこちらから
ご確認ください



「技能と心の調和」 専門的な知識や技能を学ぶと共に人間性豊かな心を併せ持つ人を養成するため、「技能と心の調和」を教育理念とする。

■ 通信教育課程 目的

本課程は、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、技能と心の調和を教育理念に掲げ、高度な専門的知識・技能、人間性の豊かな心、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材を養成する。また、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などに関わらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献するものとする。

こども心理学部こども心理学科通信教育課程

教育の目的	幅広い教養を前提とし、本学の教育を通信の方法により提供することで、時間や場所、職業などにかかわらず、多くの人たちが学習できる機会を実現し、知識・技能及び人間性さらには意思決定能力を自ら磨き、もって生涯教育の拠点として地域・社会の発展に貢献する人材を養成する。
アドミッション・ポリシー	大学及びこども心理学部の教育目標を理解して学びを深め、積極的に人と関わり円滑な対人関係を構築することのできる人間力を持つ学生の入学を期待する。そのためには、常に学修への高い意欲を保持し、こども心理学部の教育及び将来の社会の要請に応える力を身につける積極性が求められる。ついては、大学内外における様々な活動やボランティア経験及び様々な個性・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。 ●様々な事柄に興味・関心を持ち、自身の経験や知識と関連付けて学ぶことができる。 ●自分の考えを適切に表現し、他者理解をもって人間関係を構築することができる。 ●子どもを中心としたあらゆる年代の心理と行動をはじめとし、幅広い内容について興味・関心を有し、心理学的観点からもその背景やプロセスについて論理的に理解することに積極的である。 ●多様な人々と積極的に関わり、互いに理解し尊重し合ったうえで適切な対人関係を構築すること及びその対人関係の構築について心理面からの理解と充実した表現方法による円滑なコミュニケーションを行うことに意欲的である。
カリキュラム・ポリシー	幅広い教養を1年次から履修することと同時に、子どもを中心とした心理と行動の理解及び子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達を理解を基盤とした以下の教育を行う。 ●こども心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。 ●子ども理解に根ざした心理学、保育学、教育学、福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。 ●子どもの家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。 ●選択により卒業研究科目として、こども心理学演習(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。 ●本学の共通及び通信教育課程が指定する学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)の形成を目指す。
ディプロマ・ポリシー	以下の要件を満たす人材を養成する。 ●自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。 ●子どもに関する心理を中心に、学士として十分なこども心理学の専門的知識・技能を修得している。 ●家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもの教育・保育・福祉側面とこども心理学に関係する専門的知識・技能を修得している。 ●実社会で活躍できるような、本学の共通及び通信教育課程が指定した学士力(人間性や心の豊かさを培うスキル)を修得している。

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科通信教育課程

教育の目的	社会で必要とされる「組織成員として組織の健康な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し、円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化することのできる人材を養成する。
アドミッション・ポリシー	大学及びモチベーション行動科学部の教育目標を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化させる可能性を持つ学生の入学を期待する。そして、様々な経験を通して得られる人間力を高めていくことのできる学生、豊かな個性・経験・技能を持った学生を幅広く受け入れるための方針をここに示し、それに基づく学生の受け入れを行う。 ●モチベーション行動科学部で学ぶことに強い意欲をもっている。 ●豊かな発想力で主体的に考え行動することができる。 ●企業人や公務員、各種法人職員等として活躍しながら、モチベーションについて学ぶことにより、組織貢献を希望している。 ●社会の一線を退き、家庭や地域コミュニティの中で生きつつ、その対人関係及びコミュニケーションの円滑化や活力の向上を求めて、学びに興味をもっている。
カリキュラム・ポリシー	卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、テキスト科目、スクーリング科目、メディア科目を有機的に連携させた授業を開講する。 (1)一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。 (2)専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群におかれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。 (3)通信教育課程では選択により卒業研究科目として、演習Ⅰ(3年次)、演習Ⅱ(3年次)、卒業研究(4年次)を履修し学問研究を深めることができ、多様な学びに対応する。
ディプロマ・ポリシー	心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を学び、所定の単位を修得するとともに、社会に貢献しうる者に「学士(行動科学)」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 (1)個人をみつめる力を身につけること。 客観的な視点で人間行動を理解し分析ことができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。 (2)他者と関わる力を身につけること。 他者を肯定的に理解することができる、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。 (3)組織を動かす力を身につけること。 集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

学校法人 三幸学園について



「技能と心の調和」が、私たちの教育の原点です。

三幸学園の教育理念は「技能と心の調和」です。これは、専門的知識や技術を習得するとともに心を磨く、人間性を磨く、つまり、心豊かな人間性を育てることに教育の目標をおいたものです。

技術は、努力と経験によって身につけることができます。しかし、優れた技術を身につけていることだけではなく、時には人を支えていける強い気持ちと思いやりの心を併せ持つ人材こそが求められていると、私たちは考えます。社会に出る前の大切な時期を過ごす学校という場を通して、教職員と学生、先輩と後輩、仲間である学生同士がお互いに感動を共有するとともに、目上の方に対するマナー、言葉遣い、礼儀などをしっかりと学んでいただきます。

今までも、これからも「技能と心の調和」が私たちの教育方針です。

昭和60年に設立された学校法人三幸学園には40年以上の歴史があります。

全国各地に教育機関を展開。多くの卒業生が、社会のあらゆる分野で活躍中です。

学校法人 三幸学園運営校一覧

日本全国で60以上の専門学校、大学、短期大学、高等学校、特別支援学校、幼児・児童教室などの教育機関を展開し、人を育てることでたくさんの幸せを作り出しています。

●専門学校

医療秘書専門学校
医療秘書こども専門学校
医療秘書福祉&IT専門学校
医療秘書&IT専門学校
医療秘書歯科衛生&IT専門学校
東京未来大学福祉保育専門学校
こども専門学校
こども&医療専門学校
東京墨田看護専門学校
リゾート&スポーツ専門学校
スポーツ&メディカル専門学校
ビューティーアート専門学校
ビューティー&ブライダル専門学校
ウェディング&ブライダル専門学校
ブライダル&ホテル観光専門学校

スイーツ&カフェ専門学校

辻学園 調理・製菓専門学校
名古屋辻学園調理専門学校
辻学園 栄養専門学校
みらいAI&IT専門学校
みらいAI&ITデザイン専門学校

●大学 / 短期大学

東京未来大学
小田原短期大学

●通信制高校 / 特別支援学校

飛鳥未来高等学校
飛鳥未来きずな高等学校
飛鳥未来きぼう高等学校
支援学校 仙台みらい高等学校

●中学校

東京みらい中学校

●幼児・児童教育

東京未来大学みらいフリースクール
飛鳥未来中部・初等部
キッズ大陸
ぼけっとランド
こころの保育園
東京みらい児童発達支援センター

●日本語学校

SANKO日本語学校 東京
SANKO日本語学校 綾瀬
SANKO日本語教師養成講座

●その他スクール

みらいドローンスクール
B×art BASE
Wellness Pro Academy

東京未来大学沿革

平成18年	11月	大学設置認可
平成19年	4月	開学。こども心理学部開設(通学課程／通信教育課程)。幼稚園教諭一種免許状認定(通学課程／通信教育課程)
	10月	科目等履修生募集開始(通信教育課程)
平成21年	4月	正科生(3年次編入学)募集開始(通信教育課程)。小学校教諭一種免許状認定(通信教育課程)
平成24年	4月	モチベーション行動科学部開設(通学課程)
平成25年	4月	モチベーション行動科学部開設(通信教育課程)